

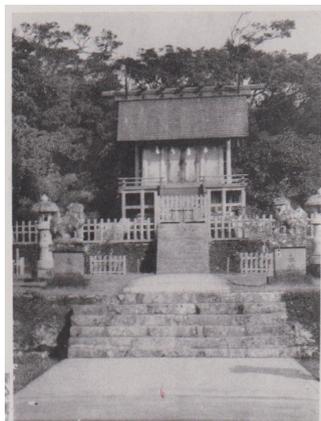


近現代日本の祭祀空間と海外神社

後田多 敦（非文字資料研究センター 研究員／研究班代表）

本研究は、近現代日本の神社や沖縄の御嶽などの祭祀空間、そして海外神社跡などの環境・景観を対象とし、日本の信仰や祭祀と空間やその再編、周辺地域とのかかわりなどを明らかにすることを目的とする。この研究は、COE時代からの海外神社研究の成果を受け継ぐもので、今期は首里城（かつて沖縄神社が建立されていた）の祭祀空間やその再編のテーマを軸に進めたい。首里城は2019年の火災を受け、正殿などの復元整備がなされるため、空間再編の現代的な事例としてアプローチする。また、沖縄神社や首里城だけでなく、境界や海外神社への関心から他地域の祭祀空間も視野に入れながら事例を積み上げたい。非文字資料を中核としつつ、基礎的な文献資料の収集整理を踏

まえ、現地調査や写真・図像と併せて活用し、文字資料と非文字資料の立体的重層的な分析にも取り組みたい。また、これまで蓄積されてきた「海外神社データベース」のリニューアルも進める。



沖縄神社「本殿（神殿）」



沖縄神社「拝殿」となった首里城正殿